JRRN Annual Report 2020

日本河川・流域再生ネットワーク　令和 2 年度 事業報告書

http://www.a-rr.net/jp/　https://www.facebook.com/JapanRRN

日本河川・流域再生ネットワーク（**JRRN**）は、河川再生について共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動しています。またアジア河川・流域再生ネットワーク(**ARRN**)の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、海外の素晴らしい取組みを国内に還元する役割を担っています。

令和 2 年度（2020 年）は、新型コロナウイルス感染拡大により国際的な技術交流は実施できませんでしたが、国内において感染防止対策に努めながら、川づくりに関わる情報共有基盤の整備、及び川づくりの担い手の育成に向けた普及・啓発に取り組みました。

川づくりに関わる情報共有基盤整備

ウェブサイト

facebook

ニュースレター

小さな自然再生ウェブサイト

ARRN ウェブサイト

川づくりの担い手の育成 及び 協働

第 9 回小さな自然再生研修会 in 愛知・矢田川(2020.11)

第 10 回小さな自然再生研修会 in 秋田・斉内川(2020.11)

第 11 回小さな自然再生研修会 in 京都・美山川(2020.11)

全研修会のショートムービー公開

全研修会の開催報告書公開

第 13 回淡海の川づくりフォーラム発表

2020 年度　事業報告書

日本河川・流域再生ネットワーク

自　2020 年 4 月 1 日
至　2021 年 3 月 31 日

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)は、川づくりについて共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい川づくりの技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目指して活動しております。また、アジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)の日本窓口として、中国や韓国など ARRN 会員や海外関係機関との連携を通じ、日本の優れた知見を海外に向けて発信し、同時に海外の素晴らしい取組みを日本国内に還元する役割を担っております。

2020 年度は、新型コロナウイルス感染拡大により国際的な技術交流は実施できませんでしたが、国内において感染防止対策に努めながら、川づくりに関わる情報共有基盤の整備、川づくりの担い手の育成に向けた普及・啓発に取り組みました。また、会員に関しては、団体会員は 61 団体、個人会員は 816 人となりました。

1.　2020 年度実施事業

【１】　川づくりに関わる情報共有基盤整備

国内外の川づくりに関連する報道ニュース、行事情報、活動事例、新刊案内、行政ニュース等について、ウェブサイト、facebook、YouTube ページ、ニュースメール、ニュースレター等を通じて広く社会に発信し、情報循環に努めました。また、JRRN 会員や海外連携機関（ARRN 会員組織、英国河川再生センター、欧州河川再生センター等）からの川づくりに関わる各種提供情報の共有を図りました。

2020 年度　JRRN 情報媒体の活動実績　※(　)は前年度

JRRN 情報媒体	頻度	合計
ウェブサイト	随時	191 件 (242 件)
facebook	随時	18 件 ※不具合発生 (234 件)
ニュースメール	毎週配信	49 回 (50 回)
ニュースレター	毎月発行	12 回(12 回)

また、「小さな自然再生」研究会の幹事として「水辺の小さな自然再生ウェブサイト」及び「水辺の小さな自然再生 facebook」の運営管理を担い、水辺でできる小さな自然再生に関わる情報共有を推進しました。加えて、ARRN ウェブサイトの運営・管理を担い、ARRN 活動成果やアジアのおける川づくりに関わる情報の普及に努めました。

【２】　川づくりの担い手の育成及び協働・支援

川づくりの普及・啓発と人材育成を目的とした行事を企画・運営し、また全国の川づくり団体が取り組む活動の協働・支援を担いました。

(1)「桜のある水辺風景 2020」写真公募　⇒　公募中に中止

水辺がつくる美しい景観の未来への継承を目的として、2020 年に撮影された「桜のある水辺写真」の募集を開始しました。しかし新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い公募開始後 18 日後に本年の企画を中止としました。

(2)「水辺でできる小さな自然再生」事例集の全国普及

2020 年 3 月に発行した「できることからはじめよう　水辺の小さな自然再生事例集　第 2 集」を冊子郵送及びウェブサイトより全国に普及しました。

(3)「水辺の小さな自然再生」現地研修会のシリーズ開催　«河川基金助成事業»

水辺でできる小さな自然再生の全国への普及促進を目的として、小さな自然再生を実践する現場での現地研修会を共催しました。

2020 年度 「水辺の小さな自然再生」普及に向けた研修行事

行事名	開催日	開催場所	参加者	共催・協力
第 9 回「小さな自然再生」現地研修会	2020 年 11 月 13 日（金）	愛知県名古屋市 矢田川 （庄内川水系）	37 人	愛知県建設局河川課、矢田・庄内川をきれいにする会、「小さな自然再生」研究会、JRRN
第 10 回「小さな自然再生」現地研修会	2020 年 11 月 24 日（火）	秋田県大仙市 斉内川 （雄物川水系）	33 人	公社）全国土木コンクリートブロック協会東北地区協議会秋田県支部、「小さな自然再生」研究会、JRRN、秋田県建設部河川砂防課、奥山ボーリング株式会社
第 11 回「小さな自然再生」現地研修会	2020 年 11 月 28 日（土）	京都府美山町 美山川 （由良川水系）	32 人	NPO 法人芦生自然学校、「小さな自然再生」研究会、JRRN、美山漁業協同組合

(4)「水辺の小さな自然再生」現地研修会の成果普及 «河川基金助成事業»

全 3 回の現地研修会の開催報告を、ショートムービー及び開催報告書として公式 youtube ページやウェブサイトで公表しました。

公開年月	成果	備考
2021 年 1 月	全 3 回「小さな自然再生」現地研修会 ショートムービー（約 5 分×3 本）	公式 Youtube ページ
2021 年 3 月	第 9 回　小さな自然再生現地研修会@愛知県名古屋市・矢田川　開催報告書（44 ページ）	小さな自然再生ホームページ JRRN ホームページ
2021 年 3 月	第 10 回　小さな自然再生現地研修会@秋田県大仙市・斉内川　開催報告書（60 ページ）	小さな自然再生ホームページ JRRN ホームページ
2021 年 3 月	「第 11 回　小さな自然再生現地研修会@京都府南丹市美山町・美山川　開催報告書（52 ページ）	小さな自然再生ホームページ JRRN ホームページ

(5)川づくり団体との協働・支援

JRRN 会員を含む川づくりに関わる諸団体が取り組む下記の公益活動に対し、企画や行事開催、広報等の支援、協働、協力を担いました。

国内の主な協働実績

年月	団体名等	協働内容
通年	JRRN 会員を含む川づくり団体	行事案内や刊行物の広報等（計 13 件）
通年	水の巡回展ネットワーク(jawanet)	「雨展」企画・運営協力
通年	応用生態工学会	委員会活動協働
2021 年 2 月	第 13 回淡海の川づくりフォーラム実行委員会	発表参加

2. 会員の入退会数及び現在の会員数

団体会員、個人会員の入退会数及び 2020 年度末現在の会員数は次表の通りです。

2020 年度　JRRN 会員の入会・退会状況

会員区分	2019 年度末	入会数	退会数	現在数
団体会員	60	1	0	61
個人会員	800	19	3	816

【お気軽にお問い合わせください】

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)　事務局

〒104-0033 東京都中央区新川 1 丁目 17 番 24 号　ＮＭＦ茅場町ビル７階　公益財団法人リバーフロント研究所 内

Tel:03-6228-3865　Fax:03-3523-0640　E-mail: info@a-rr.net

URL: http://www.a-rr.net/jp/　Facebook: https://www.facebook.com/JapanRRN